

環境報告書

2025



環境方針

●基本理念

当社は、経営理念「エレクトロニクス技術をもって、人類の健康と安全に寄与し、情報通信分野に貢献する」に基づき、地球環境の保全が重要課題の一つであることを認識し、事業活動のあらゆる段階で、環境の保全に配慮して行動する。

●基本方針

- (1) 事業活動、製品及びサービスにおいて、ライフサイクル全体の環境負荷低減に対応する環境マネジメントシステムを構築し、社会的要求に応える。
- (2) 技術的、経済的に可能な範囲で、省エネルギー・省資源・廃棄物削減・有害化学物質削減、継続的改善に取り組み、汚染の予防に努める。また、生物多様性の保全に配慮する。
- (3) 環境関連法規及び会社が同意するその他の要求事項を順守し環境の保全と向上に努める。
- (4) 環境改善活動を実践するための環境目標を定め、その達成のため最善の努力をする。また継続的改善を図るため、環境目標は、定期的な見直しをする。
- (5) 環境方針を文書化し実行し維持する。全ての作業員に周知徹底するため、環境方針及び環境目標を記載した環境方針カードを作成し配布する。
- (6) 環境方針は、ホームページ等を通じ社外へ公表する。

上田日本無線株式会社 代表取締役社長 小林 真行

環境経営

●ISO14001

環境マネジメントシステムの国際規格である「ISO 14001」の認証を事業所及び子会社で取得し、グループ全体で環境活動に取り組んでいます。（登録証番号：JQA-EM0531）

●当社の環境活動の歩み

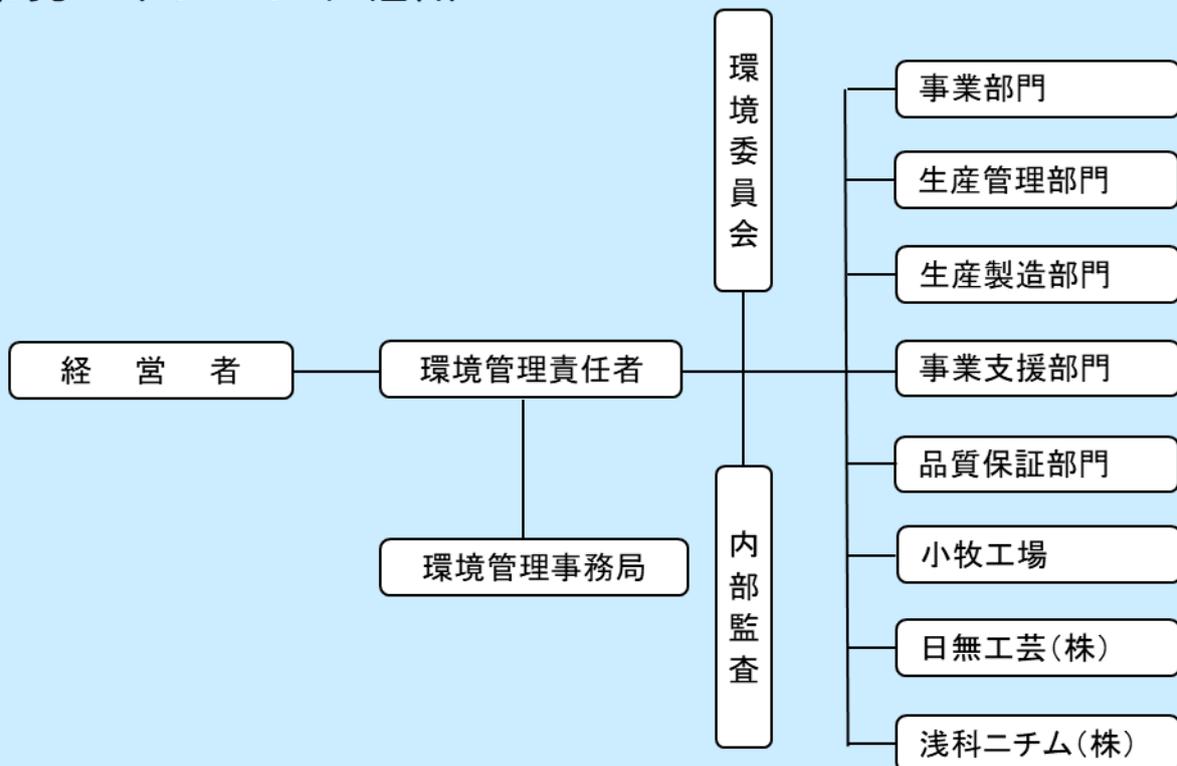
当社は1999年に（財）日本品質保証機構の審査を受けて認証を取得しました。

当初は本社工場と小牧工場及び子会社の日無工芸(株)でスタートし、2003年に浅科ニチム(株)を対象事業所として追加登録しました。

2017年の更新審査にて「ISO 14001：2015」に移行し現在に至ります。



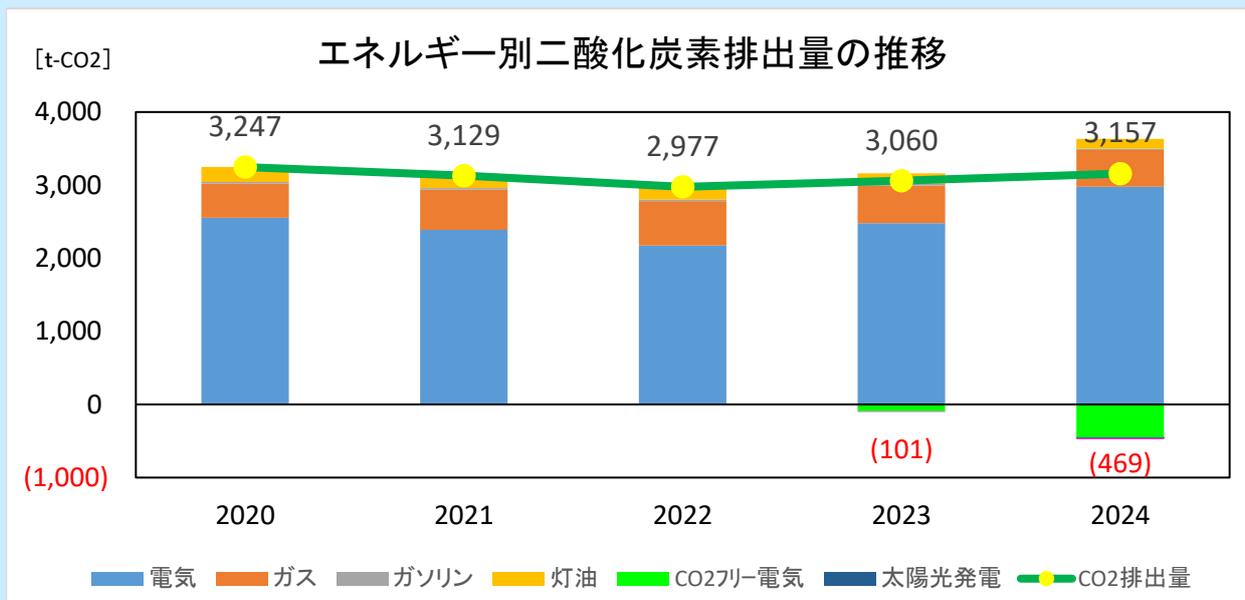
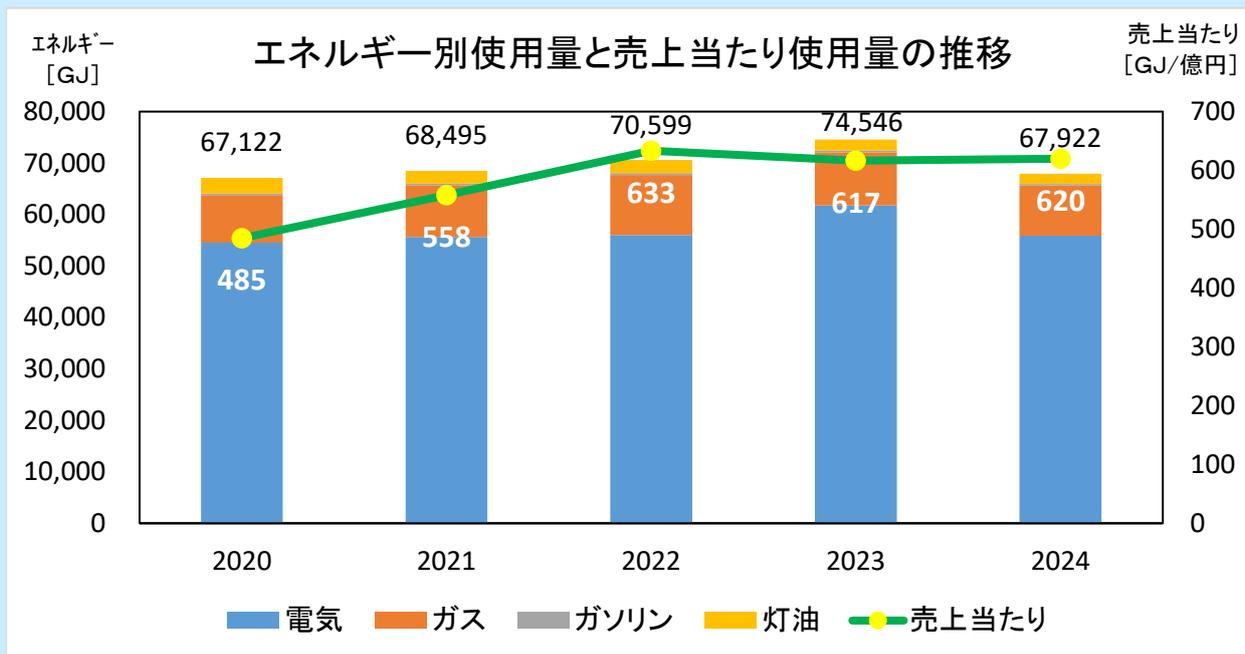
環境マネジメント組織



環境活動報告

●省エネ・地球温暖化

エネルギー使用量は、67,922GJ（前年度 74,546GJ）対前年比で6,624GJ 9%減少しました。温室効果ガス排出量は、3,157t-CO₂（前年度 3,060t-CO₂）対前年比で97t-CO₂ 3%増加となりました。

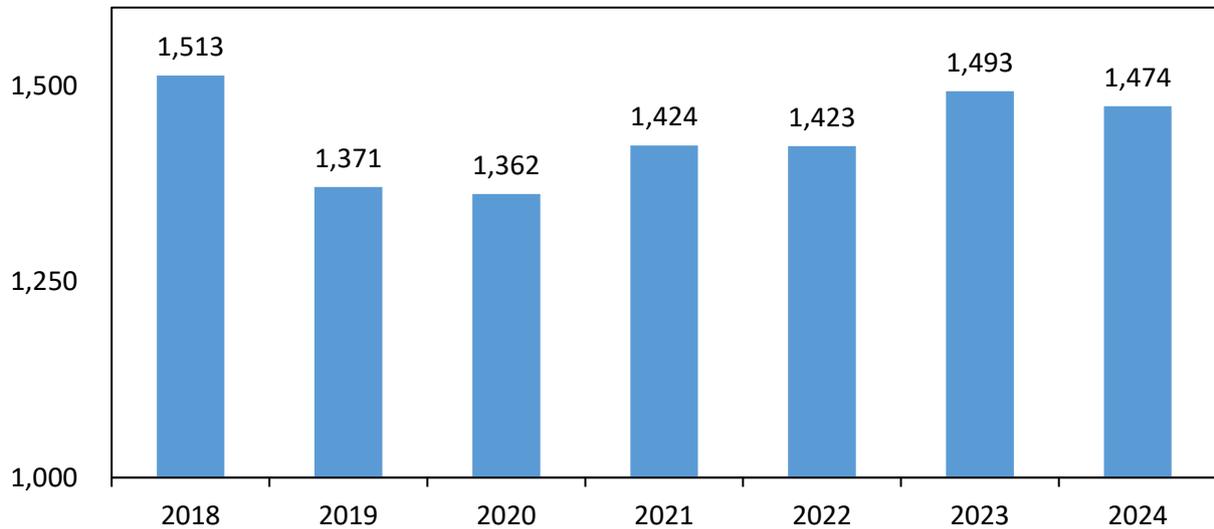


●省エネ・地球温暖化

原油換算エネルギー使用量は、2018年度 1,500KL を超過しましたが、2019年度より6年連続で 1,500KL を下回る状況で推移しております。

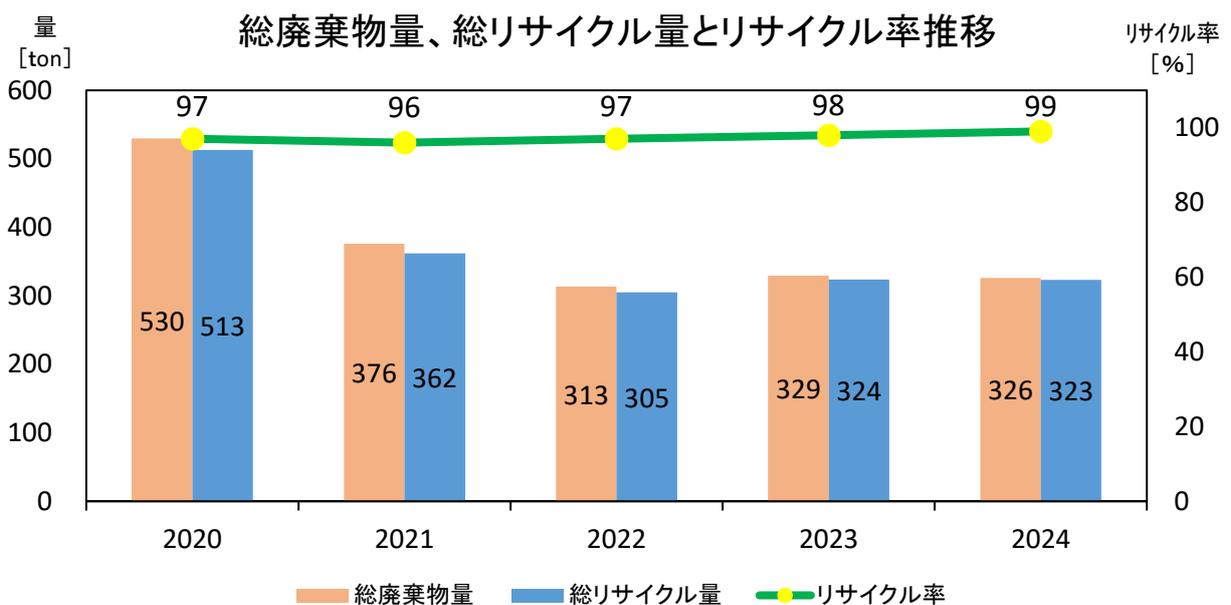
原油換算
エネルギー-[KL]

原油換算エネルギー使用量推移



●リサイクル

リサイクル率は、プラスチック類の3R推進継続により99%（前年度 98%）と、昨年度より1Pアップとなりました。



製品・調達の取組み

●グリーン調達ガイドライン

事業活動において気候変動対策及び循環型社会、自然共生社会の実現を目指す中で、弊社が提供する製品が「自然環境の保護」及び「生態系の保全」並びに「人への健康被害防止」に十分配慮したものであるために、環境負荷の少ない製品・部品の調達（グリーン調達）の推進を図るべくグリーン調達ガイドラインを発行しております。

最新は2025年4月発行の第7.0版となります。

取組み事例

●「太陽光発電システム」の設置

本社126号棟屋根に太陽光発電設備を設置し、2024年7月より稼働
設備容量104.50KW、実績：発電量18.1MWh/半年、8t-CO2/半年

温室効果ガス排出量削減目標の達成の手段のひとつとして本社工場の126号棟折板屋根に太陽光発電設備を設置しました。2024年7月より発電を開始しています。

仕様としてパネル容量は104.5kw(550w×190枚)、CS69.5kw(動力20kw 電灯4.95kw×10台)、年間予想発電量は126,876KWhです。設置後半年の実績は発電量18.1MWh、CO2排出量は8t-CO2でした。

127号棟玄関に発電量が表示されるモニタを設置し、従業員や来社されるお客様にも関心を持ってもらえるようにしています。太陽光発電設備が目に見える環境対策として、企業のイメージ向上、社内的にも従業員の環境意識や節電への関心を高めるなど、発電以外でも効果がみられる設備です。

今後も省エネを通じた環境活動を継続していきます。

